

## 臨床研究名: 原発性肺癌に対する右下葉切除術における#10リンパ節郭清の現状と臨床的意義

岡山労災病院では、以下の研究を行っています。  
当研究では、患者さんからのカルテデータ使用についての同意がなかったものについては使用していません。  
また同意した後に同意撤回することも可能です。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありません。

研究題名	原発性肺癌に対する右下葉切除術における#10リンパ節郭清の現状と臨床的意義
対象患者	2012年1月1日～2022年12月31日の間に岡山労災病院において肺癌手術を受けられた方約50名を研究対象とします。
研究目的及び内容	<p>日本では肺癌の診療や手術にあたって、「肺癌診療ガイドライン」や「肺癌取扱い規約」といった統一された指針に基づき治療が行われています。これにより、全国どこでも一定水準の医療を受けられる体制が整えられています。</p> <p>現在、肺より発生した肺癌(原発性肺癌)の手術では、癌のある肺の区域に応じて「肺葉切除術」という術式を用いることが一般的です。この手術では、規約に従って、癌細胞が広がる可能性のある周囲のリンパ節を同時に取り除きます(リンパ節郭清)。郭清を行うべきリンパ節の部位は、切除する肺葉によって定められています。</p> <p>しかし、右下葉に対する肺葉切除術において、規約上は郭清すべきとされている「#10リンパ節(肺門リンパ節)」については、科学的な妥当性を十分に裏付けるデータが少なく、実際には施設や担当医によって対応が異なっているのが現状です。</p> <p>この研究では、岡山大学病院および関連施設の症例を用いて、右下葉肺癌の手術における#10リンパ節郭清の実施状況と、その後の経過(生存期間や再発のあり方)との関係を後方視的に調べます。多くの実臨床データを解析することで、右下葉切除における#10リンパ節郭清の妥当性を検証し、実際の臨床現場における現状と課題を明らかにすることを目的としています。</p>
使用する患者情報等	<p>この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・病歴、年齢、性別、身長、体重、既往歴、病期</li><li>・血液検査(CEA・SCC)、画像検査(CT・MRI・PET)、生理学的検査、病理学検査</li><li>・治療内容(手術内容詳細)、術前後の化学療法・放射線療法の有無および内容</li><li>・術後経過、再発の有無、再発後治療歴、生存情報(手術日からの生存期間)、死因</li><li>・手術時に採取した組織情報</li></ul>
研究担当者	所属・職名: 外科 医師 氏名: 葉山 牧夫
研究分担者	共同研究所属: 岡山大学病院など 共同研究者: 柳光剛志など
研究期間	研究機関の長の承認後 ～ 2028年 3月 31日
研究区分	<input type="checkbox"/> 臨床研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 観察研究 ・ <input type="checkbox"/> その他
倫理審査の有無	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (決済日:2026年 3月 9日 承認No.593)
利益相反の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (決済日: 年 月 日 承認No. )
医薬品や物品の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名称: 年 月 日)
学会発表・論文投稿	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 各種学会での発表および和文または英文雑誌への投稿)
問い合わせ先 相談窓口	所属: 外科 氏名: 葉山 牧夫 TEL: 086-262-0131(代) FAX: 086-262-3391
備考	